

平成24年8月号の『広報すかがわ』に、須賀川サポーターズクラブの方々のコメントが掲載されました。

(7月15日・16日の須賀川の物産展に参加)

朝一番の高速バスで静岡から来ました。須賀川の友達から紹介いただいたコシヒカリがおいしくて、大震災以降、須賀川から取り寄せ、かれこれ120*。グラム食べています。物産展では、大声で「須賀川」を連呼し、ピーアールさせていただきました。くしくも私の誕生日が3月11日です。大震災からの復興を果たさなければ、生涯悔いを残すような気がしています。

静岡県 横野 守さん

「ふるさととは遠きにありて思ふもの…」ではないですが、年々歳々、須賀川の役に立ちたいと思う気持ちが強くなってきています。大震災の際、被災した須賀川の光景が忘れられず、物産展の案内がくると、自然と足が向かっています。花火大会や松明あかしなど、イベント沢山の元気な須賀川発信をお手伝いしていくことが、ふるさとへの恩返しだと思っています。

東京都 橋本 臣功さん

ふるさと須賀川のために、何か役に立ちたいと考えていましたが、東日本大震災以降、その思いは一層強くなっています。「ふるさと」って本当に掛け替えのないものですね。首都圏の物産展は、案内があれば、座間市であろうと、どこへでも出掛け、須賀川のピーアールをして、物産販売をしていきます。須賀川産のものが売れると、自分のことのようにうれしいです。

東京都 熊田 春子さん

夫が須賀川市出身というご縁で、ボランティアをさせていただいています。帰省すると、おいしいご飯をいただきながら、義父母から聞く須賀川市の様子、義祖父の昔話を楽しんでいます。私は、そんな須賀川が大好きです。須賀川の魅力をいろいろな人に少しでもお伝えできればと思っています。私でよろしければ、いつでも須賀川の応援に駆け付けたいと思います。

東京都 幸田 冬子さん

私は、昨年5月に須賀川サポーターズクラブに登録しました。原発事故の影響で広がっている風評被害防止を図るため、おいしく安全安心な農産物販売と観光ピーアールには、できる限り友人にも声を掛け、駆け付けてもらう努力をしています。物産を積極的に売っていく須賀川の姿勢には敬服します。今後も微力ながら、ふるさと復興を応援していきます。

東京都 清水 勝美さん

ボランティアで須賀川の物産販売のお手伝いをしているせいか、須賀川の特産品がとても身近になりました。震災と原発事故から、地域のつながりや、「絆」の大切さを改めて感じています。僅かでも須賀川の応援をしながら、自分が住む神奈川ももっと大切にしていきたいと考えています。釈迦堂川全国花火大会にも、花火サポーターとしてお手伝いに行きます。

神奈川県 早川 明子さん

震災以降、須賀川にお住まいの皆さんは、大変なご苦労をなさっていることと思います。故郷のために、微力でも何か力になれないものか、と思っていたところ、ツイッターで、今回のボランティアの機会に恵まれました。初めてのボランティアで緊張しましたが、少しでも須賀川の皆さんの復興に協力できればうれしいです。いつも応援しています！

東京都 塚田 悦子さん

今回初めて物産展に参加し、須賀川の物産をピーアールさせていただきました。「がんばってね。応援しています」という声を何度も掛けていただき、とてもうれしかったです。中には須賀川出身の人もいて、沢山の人の愛されている故郷なのだ実感しました。復興の道のりはまだ長いかもしれませんが、必ず乗り越えられると信じています。一緒にがんばりましょう。

東京都 柳沼 志帆さん